

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	適正処理対策室
	施策	廃棄物の適正処理		電話番号	087-839-2370
	基本事業	ごみの適正処理の推進		事業実施主体	市
	事務事業	ごみ適正処理指導事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市内約8,000箇所のごみステーションを適正に管理するため、家庭ごみの適正処理について、ホームページや広報紙を通じて、市民への周知・啓発に努めるなど、ごみに関する意識の向上を図り、ごみステーションへ出される不適正ごみの削減を進める。		
30年度概要	ごみステーションの適正な管理を行うため、監視パトロールや看板の配布等の啓発活動を継続する。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	


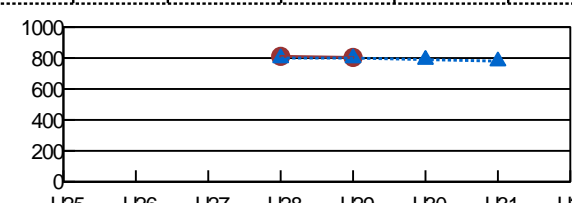
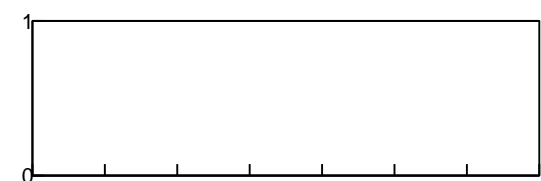
【事業の目的】

対象(何を)	市内全域のごみステーション
意図(どのような状態にしたいか)	ごみステーションの管理者や使用者の環境美化意識の向上を図り、適正なごみステーション管理を行う。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
ごみステーションパトロール件数	ヶ所		8,062	8,086	8,075	8,075

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
不適正管理ごみステーション対応件数	件	目標値		800	800	790	790
		実績値		811	804		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 不適ごみが出ているごみステーションがなかなか無くなること無いため、適正なごみの出し方について指導し、市民のごみに対する意識の高揚を図る。 		(目標達成度)					(達成度) 99.5% 34点
成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)		(目標達成度)					(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	137,434	139,819	135,028	135,337
(事業費)	[円]	5,390	4,782	4,532	4,841
(職員人件費)	[円]	132,044	135,037	130,496	130,496

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

ごみの分別が出来ていないものや指定有料袋に入れていないなどの不適正ごみをごみステーションに出しているケースがあり、特に引越時期の3月から4月にかけて多く発生している。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

不適正ごみの排出者に対し、文書による個別指導を引き続き行うとともに、特に、住宅管理者に対しては、入退去時に、適正なごみの出し方の説明を行うことが効果的であるため、説明会での周知・徹底を依頼する。
また、市政出前ふれあいトークや環境学習などの体験型事業による啓発を通じて、事業者・市民のごみに関する意識の向上を図る。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	環境施設対策課
	施策	廃棄物の適正処理		電話番号	087-885-2810
	基本事業	ごみの適正処理の推進		事業実施主体	市
	事務事業	西部クリーンセンター大規模改修事業		事業期間	平成28年度～平成30年度

【事業全体概要】

事業の概要	一般廃棄物中間処理施設である西部クリーンセンターは、供用開始してから長期間が経過しており、平成25年度に長寿命化計画を策定し、この計画に基づいて、ごみ焼却施設及び破碎処理施設の基幹的設備の大規模改修工事を行う。 施設周辺の地域振興事業として、集会場、道路等のインフラ整備を行う。
-------	--

30年度概要	西部クリーンセンター（破碎処理施設）の基幹的設備改良工事を行う。 周辺地域振興事業を行う。
--------	--

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	6-	事務事業の類型	インフラ・施設等整備
--------	------	----------	----	---------	------------

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民 西部クリーンセンター（中間処理施設）
意図（どのような状態にしたいか）	西部クリーンセンターの大規模改修を実施し、施設の延命化を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
整備事業の進捗率（事業費ベース）単年度	%		51.2	99.9	100	100

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
西部クリーンセンター大規模改修整備進捗率	%	目標値		16.6	87.6	95.6	95.6
		実績値		16.6	73.8		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） ごみ焼却施設（2炉）、破碎処理施設の基幹的設備改良工事により、周辺環境に配慮した施設の性能維持や延命化が図られる。 (目標達成度)							(達成度) 84.2%
							29点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							
							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	219,757	977,644	4,968,602	680,024
（事業費）	[円]	204,403	961,942	4,953,428	664,850
（職員人件費）	[円]	15,354	15,702	15,174	15,174

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

<ul style="list-style-type: none"> 焼却施設については、平成27年度から平成29年度までで工事完了することができた。 破碎施設については、平成29年度から平成31年8月末までに工事完了を目指す。
--

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

大規模改修工事の工程管理や安全管理に努め、予定どおりの事業完了を目指す。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	南部クリーンセンター
	施策	廃棄物の適正処理		電話番号	087-890-2190
	基本事業	ごみの適正処理の推進		事業実施主体	市
	事務事業	南部クリーンセンター次期運営方法等検討事業		事業期間	平成28年度～平成30年度

【事業全体概要】

事業の概要	南部クリーンセンターでは、焼却施設、破砕・資源化施設及び埋立処分場の管理運営を、平成30年度までの15年間の長期計画で進めている。本市にとって最も効率的かつ安定したごみ処理が行えるよう、現在の設備についての現況調査を行った後、本センターの長期的な修繕計画の策定や運営形態などについて、専門コンサルタント会社を活用し、詳細な検討を行った。また、実施に当たっては、検討すべき事項も多岐に渡り、相互に関連するものも多く、継続的、効率的に行わなければならないため、28年度から3か年の継続事業で実施する。
-------	--

30年度概要	次期事業者を選定し、契約の締結を行う。
--------	---------------------

重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）
--------	------	----------	---------	-------------------

【事業の目的】

対象（何を）	南部クリーンセンターの施設及び運営形態
意図（どのような状態にしたいか）	平成30年度の現業務委託契約終了後の長期的な運営計画を策定する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
次期運営方法等検討事業の進捗率	%		30	20	50	100

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
次期運営方法等検討事業の進捗率	%	目標値		40	10	50	100
		実績値		30	20		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 平成29年度は、前年度から繰り越した「基礎調査や修繕計画検討」の事業を進め、本年度事業の「次期事業の基本計画」の策定等を行った。また、次期管理運営事業者選定検討委員会を設置し、次期管理運営事業者等について協議した結果、3月には次期事業者の入札公告を行った。 (目標達成度)							(達成度) 200.0% 35点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]		29,313	41,120	46,753
（事業費）	[円]		5,760	18,359	23,992
（職員人件費）	[円]		23,553	22,761	22,761

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

委託コンサルタント事業者による「基礎調査や修繕計画」等を検討し、「次期事業の基本計画」等を策定した。また、次期管理運営事業者選定検討委員会を設置し、専門的な知見により、次期管理事業者の選定方法等について協議した。3月には次期事業者の入札公告を行った。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

事業最終年度である平成30年度に次期管理運営事業者と契約を締結し、31年度以降の管理運営が、最も効率的で安定したごみ処理が行えるよう、事業を推進して行く。